

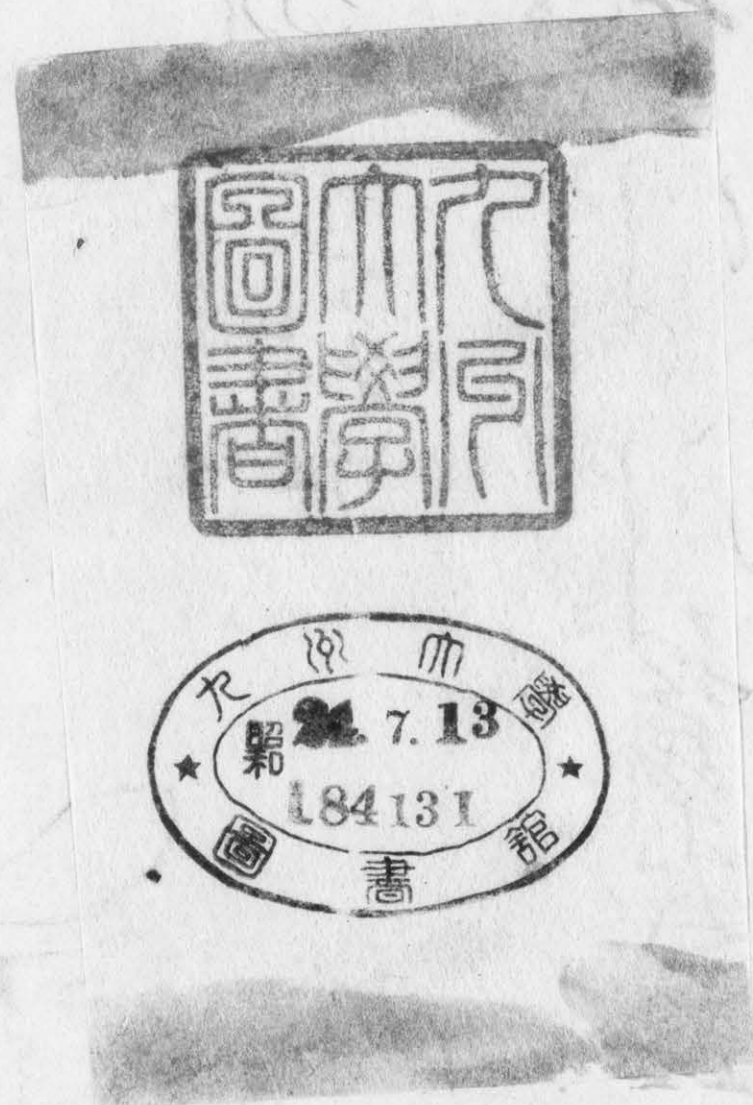


世尊之家二十六人款合  
形行之  
散標

543
セ
5

Handwritten vertical text on the left side of the page.

Handwritten vertical text in the middle-left area of the page.



Handwritten vertical text on the right side of the page.

Handwritten vertical text on the right side of the page, below the first one.



Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

左  
人  
丸



Handwritten text on the left edge of the page, partially obscured.

右

貫之

むすめくさくさく

ふさふさ

井のあそび

にまのたわぶ





左  
躬恒

すんがりの

松色あま

うき

ゆき

きり

あま

あま



二  
三

右  
伊勢

三  
悔の内

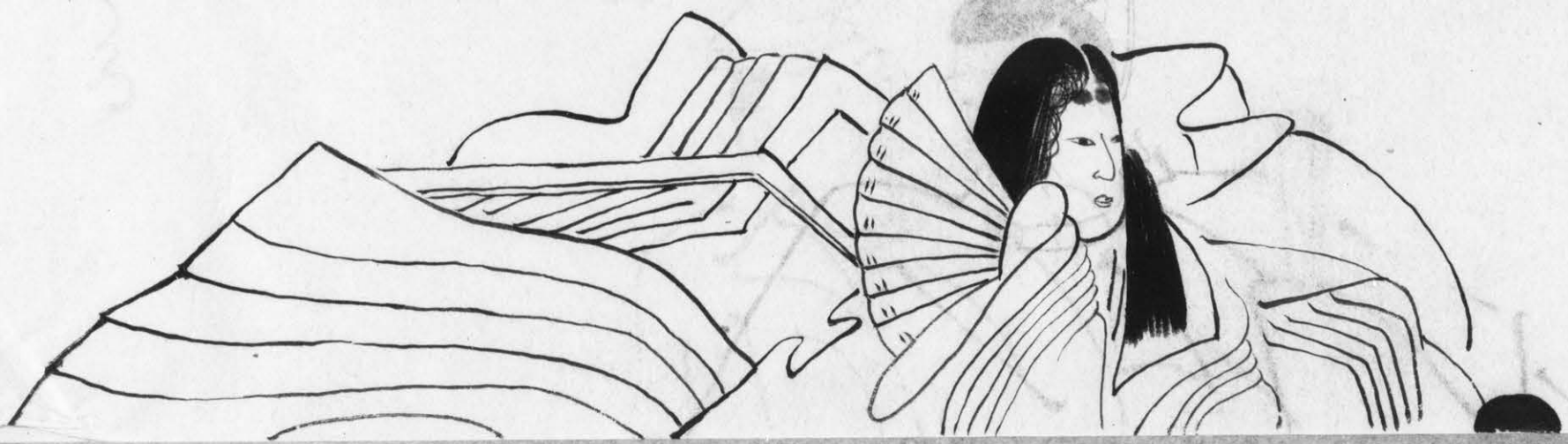
か  
た  
ま  
ま  
ま

よ  
も  
も

あ  
ら  
あ  
ら  
あ  
ら

あ  
ら  
あ  
ら

あ  
ら  
あ  
ら  
あ  
ら





左 中納言家持

海島いさか

くさくさ

ま

くさくさ

ふまの

あぐさ

ら



左 中納言家持

右 赤人

和のうぬふ志が

まはるくまじりて

なみ

あつをたし

まはるくまじり

まはるく





左  
~~~~~

かたがし

かたがし

かたがし

かたがし

肉やあなま

左  
業平朝臣



六  
通伝僧

右

遍眼僧正

いふの鉢ふ母の

いふこれあう

いふ

うはる母を

いふ

いふをいふいふ  
いふ





章如魚

松島日あま

くまのくに

志のあぶら

きりぎりす

丸 素性法師



二 文

右

大則

持子之執心書

いんげんたて

いんげん

光之

いんげん

いんげん

いん





手  
の  
死

考  
死  
く  
時  
橋  
の

あ  
ら  
は  
れ

も

お  
ま  
か  
ら  
い  
わ

松  
く  
山

左  
横  
丸  
太  
夫



右 小野小町

うらむらむらにやと

うらむらむらにやと

うらむらむらにやと

うらむらむらにやと

うらむらむらにやと

うらむらむらにやと

うらむらむらにやと





うきあぐさく

あぐさく

あぐさく

あぐさく

丸 中納言 補



あぐさく

右

申納之胡忍

より法代乃

くさき

をぬを

のひる

のめ好くは唐

林うの林人

孫





尤中納之數

伊も乃

子つら

ひ

ひら

い

あ

ま



右 高光

春すねくちり

くさくさ

梅

さくら

枝のこ

あま





丸

中

ふ

あ

この事斗あ

あ

あ

あ

丸

公惠胡臣



右 忠峯

いんげんやうり

は

み

い

い





うけはら

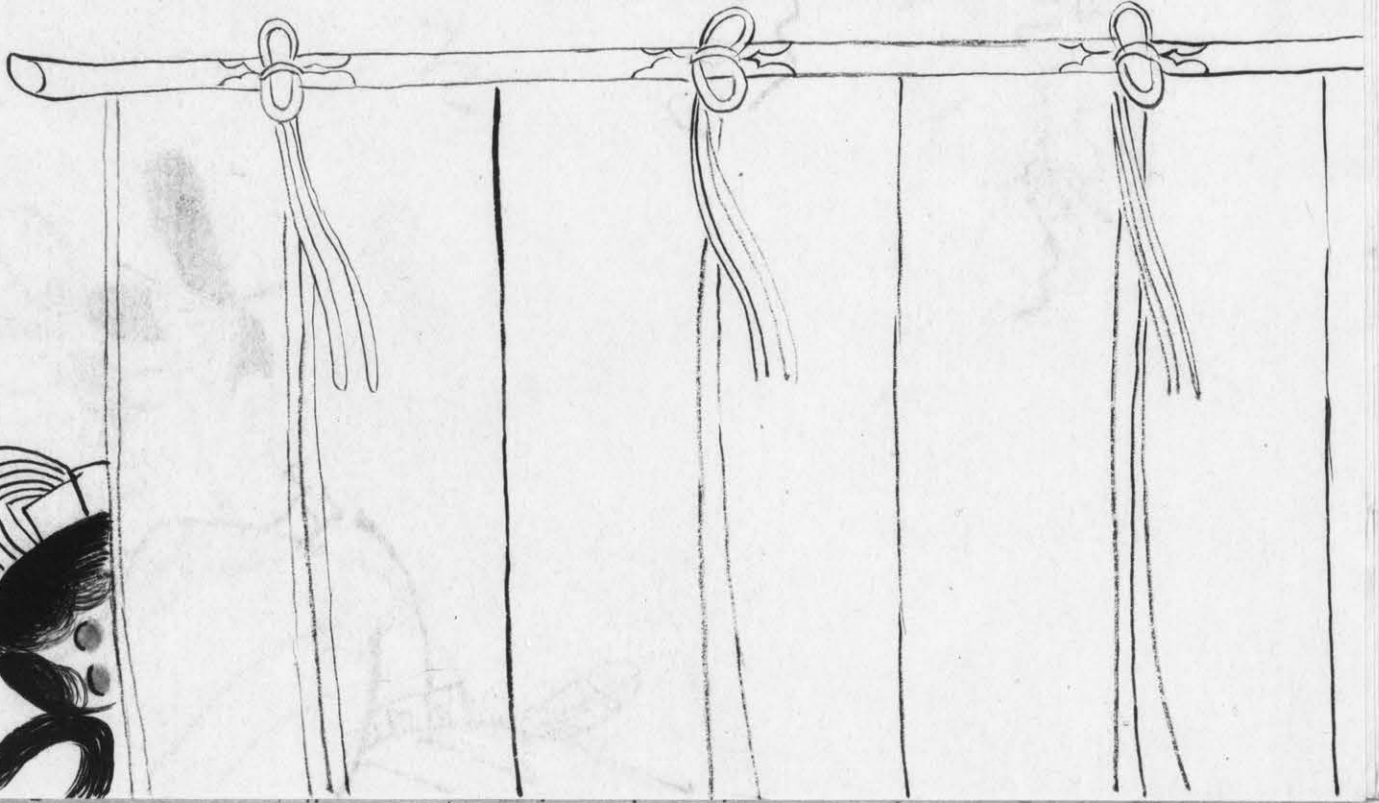
あまのつら

あまのつら

あまのつら

あまのつら

左 兼言女流



須賀

右 頼基 頼良

祿のひらきおき

母山幸とひ

はむし

いぬ

くらし

しん

よ





心

いんげん

おのれ

まの

あはれ

あはれ

丸 敏行



九  
毎分草

右  
常

夏  
の  
は  
れ

あ  
は  
れ

き  
ら  
け

じ  
つ  
の  
あ  
ら  
ま

ま  
る  
く  
あ  
ら  
ま

あ  
ら  
ま





抄入

羊のふく

あつ

あつ

あつ

丸 宗平朝臣



右 信明朝臣

本の〜とありは

とあり

月れし〜とあり

〜とあり

みくら〜とあり

〜とあり

山おほ〜とあり

〜とあり





元 清正

あふの海

あも井の

う舞ふ

あふりの

あふりの

あふりの

あふりの



右 順

水乃西母たる

月 月

ふ 妙

半

心 心 妙乃

心 心 妙乃

心 心





あふの河婦を

かへにを

つゝと柳棧乃

地を

危 具風



一  
二  
三

右

元補

契をねらふ

不意と志あり

は

未乃まるい

股をた

き





元 是利

み〜れ

てあのき

ゆふ

は〜れ

あ〜れ

あ〜れ

あ



い

あ

右

元吉

おんがはあつり

我がの

おん

本

おんがはあつり

ぬ

おんがはあつり

おんがはあつり





み

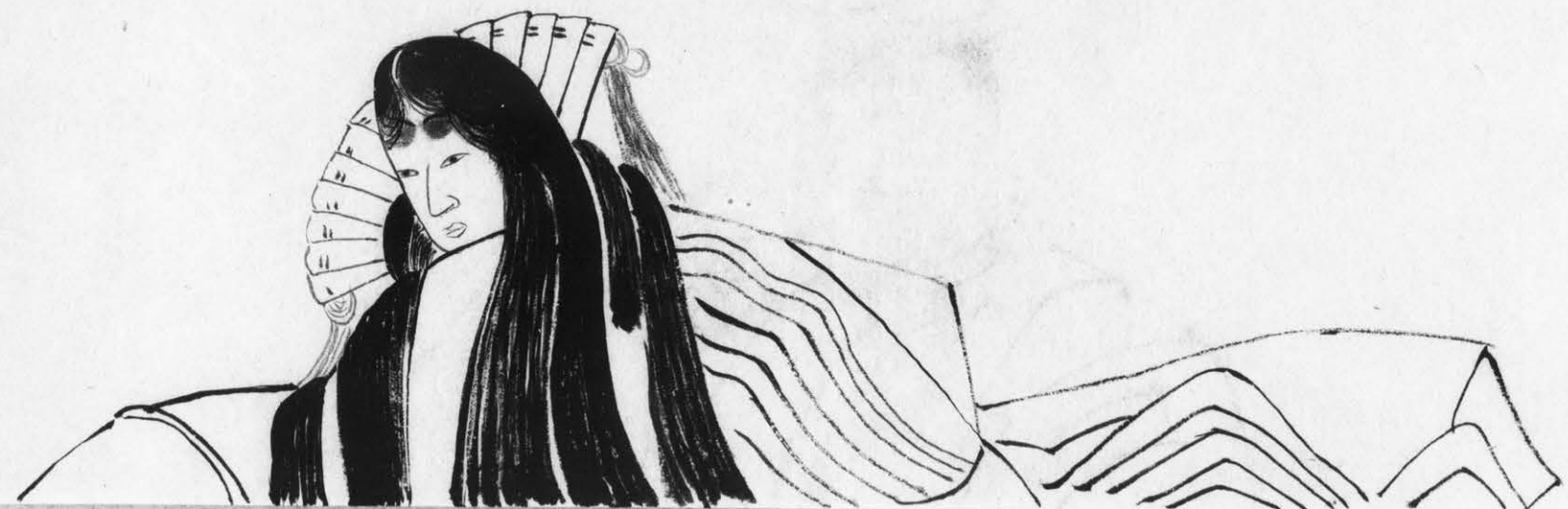
あはれ

きんぐ

風の

大井川

丸 小太郎



六

中

右

仲文

松尾花若く一人母

又もさるや事

さる教

おのこさな

はる母

おまおたる

つね





たむ

たむのたむ

たむひる

たむたむ

たむ

た

能宣胡長



志

志見

志見

志見

志見

志見

志見

志見





丸 通盤

志のたもつらぬ

うらたふらぬ

こゝろのたも

まのたもたも

たもたも

〜



右中勢

橋風乃くくに

にわたりまはるぬ

みき

お地の葉たよ

らら

きりぎりす

ま





右行のち〜形也此ち〜形  
世尊身の家のはよて尊圖親王  
清深筆のつり〜と甚な度之御模  
〜と〜と様も〜也此圖を採出  
え〜く取め〜て信實朝臣の形  
あり夫群ふのま〜と西のむき  
そ〜ふふふ〜と書ひ行のはと也  
此圖よ〜と〜と〜と合り〜と画す  
〜と〜と〜と〜と〜と家〜と  
〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
信〜とお〜と〜と日光  
東照宮尊和親仙の體も如  
斯〜是と前東叡山一處公尊大  
玉〜と天明二年九月八日也  
〜と〜と〜と〜と〜と  
乃河積筆の形画像共子河ゆら  
宸筆 後水尾院



一 直深々  
 細誠子子我不可  
 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

世尊寺 余皆傳源平祥徳之

九州大學圖書印



